

第1回 福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議

日 時：令和5年9月29日（金）16時00分～
開催方法：ハイブリッド形式（オンライン・現地会場）

1. 開 会
2. 福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議の設置（資料1～3）
 - （1）委員紹介
 - （2）会議に関する要綱等
 - （3）委員長及び副委員長の選任
3. オンデマンド交通社会実験について（資料4）
4. 「チョイソコふくおかエリア①東区」分析等について（資料5）

会議資料

- 資料1 福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議 委員名簿
- 資料2 福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議に関する要綱
- 資料3 福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議における議事等の取扱いについて
- 資料4 説明資料（オンデマンド交通社会実験について）
- 資料5 説明資料（オンデマンド交通社会実験「チョイソコふくおかエリア①東区」分析等について）

福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議 委員名簿

	氏名	役職名	備考
委員	辰巳 浩	福岡大学 理事・工学部長	
委員	萩島 理	九州大学 総合理工学研究院 教授	
委員	藤田 和子	公認会計士・税理士	
委員	小林 由希子	市民局 コミュニティ推進部長	
委員	松岡 淳	住宅都市局 都市計画部長	

(令和5年9月1日現在)

福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議に関する要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、福岡市オンデマンド交通社会実験において、取組みの検証や課題を踏まえた方向性等について、広く専門的かつ客観的な視点から意見を聴くため、福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議（以下「会議」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(委員の選任)

第2条 会議は専門的な知識又は経験を有する者、その他市長が必要と認める者から市長が委嘱した委員5名で組織する。

(会議の目的)

第3条 会議では、次に掲げる事項について、委員から意見を聴取する。

- (1) 取組みの検証や課題を踏まえた方向性等に関すること。
- (2) その他事業の推進に関し必要な事項に関すること。

(任期)

第4条 委員の任期は、その目的を達成する日までとする。

(会議)

第5条 市長は、委員の意見聴取を行うため、会議を開催することができる。

- 2 会議は、原則公開とし、傍聴することができる。ただし、議事の内容が、福岡市情報公開条例第38条ただし書きの規定に該当する場合は非公開とすることがある。

(委員長及び副委員長)

第6条 会議では、委員の互選により、委員長及び副委員長を選任する。

- 2 委員長は会議を主宰する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(守秘義務)

第7条 委員は、その職務に関して知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(解嘱)

第8条 市長は、やむを得ない事情があると認めるときは、委員を解嘱することができる。

- 2 市長は、前項の規定により委員を解嘱した場合は、専門的な知識又は経験を有する者その他市長が必要と認める者のうちから、新たに委員を選任することができる。

(事務局)

第9条 会議の事務局は、住宅都市局都市計画部交通計画課に置く。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、会議の運営に関して必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年8月23日から施行する。

福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議 における議事等の取扱いについて

福岡市オンデマンド交通社会実験の検証に係るアドバイザー会議に関する要綱第 10 条に基づき、本会議における議事等の取扱いについて下記のとおり定める。

(1) 会議開催等の事前公表

会議の名称、開催の日時及び場所、議題、会議の公開又は非公開をあらかじめ公表する。
(福岡市附属機関等の設置及び運営に関する要綱第 7 条)

(2) 会議に関する要綱と委員名簿の公表

第 1 回アドバイザー会議後、要綱と委員名簿を福岡市ホームページにおいて公表する。

(3) 議事録・会議資料の取扱い

- ・原則公表とするが、非公開情報に該当する際は、非公表とする。
(福岡市情報公開条例第 36 条第 2 項。以下「公開条例」という。)
- ・なお、会議の議事録は、公開条例第 7 条の各号にある非公開情報の部分を除き公開するものとする。

オンデマンド交通社会実験について（趣旨・概要）

■ オンデマンド交通社会実験の趣旨

- 高齢化の進展等に伴い、公共交通が不便な地域における買い物や通院などの生活交通確保が課題となる中、持続可能な生活交通確保の仕組みづくりに取り組んでいく必要があり、取組みの一つとして、オンデマンド交通社会実験を実施している。

■ オンデマンド交通社会実験の概要

- 予約に応じて効率的に運行する「オンデマンド交通」を活用し、複数校区等での広域運行や曜日別運行等の運行内容をはじめ、スポンサー制度など、運賃以外の収入確保の工夫に取り組んでいる。

【オンデマンド交通】

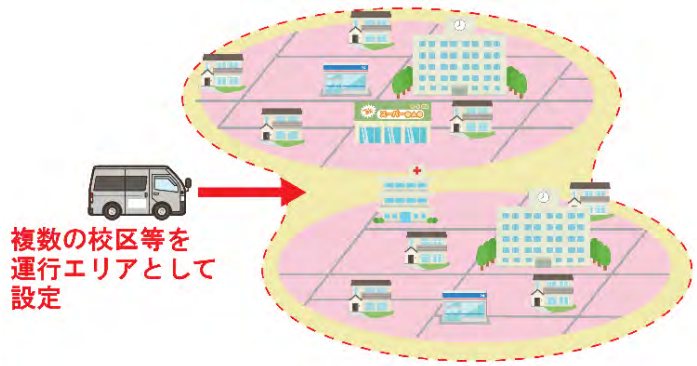
- ・時刻表がなくスマートフォンや電話で予約し、AI等が選んだ最適なルートで運行
- ・面的に一定の需要が広がるエリア内での比較的短距離の移動に用いられる



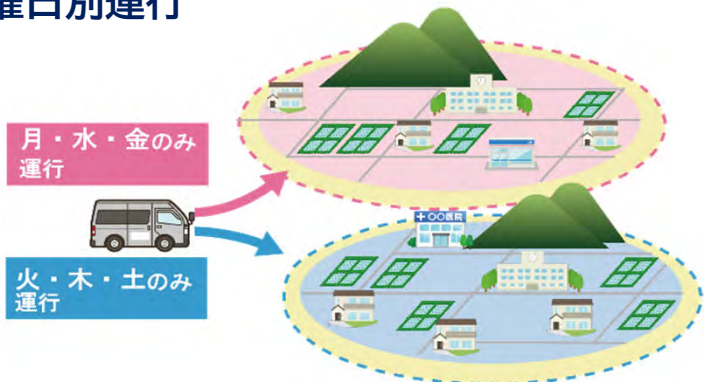
オンデマンド交通社会実験について (趣旨・概要)

【運行内容の工夫イメージ】

例1：広域運行



例2：曜日別運行



※2つ又は3つの地区で曜日を組み合わせて運行

【運賃以外の収入確保の工夫イメージ】

エリアスポンサー制度：スポンサー事業者からの協賛・広告で運行費の一部を支える



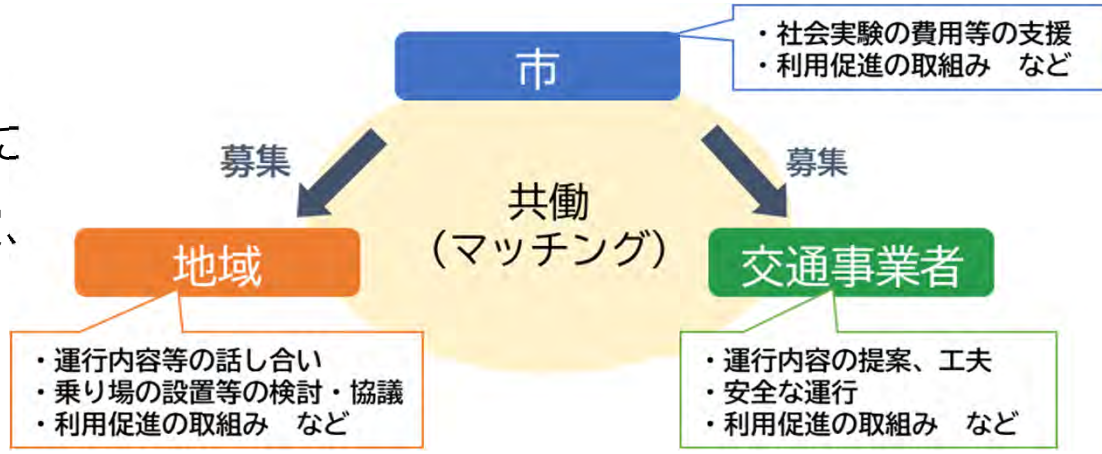
【生活交通に関する住民意識調査 (R1調査)】

- ・居住地の公共交通は全体で約8割の方が概ね便利と回答
- ・外出頻度はそれほど多くない (週2~3回) が日中の買い物等の移動がある
- ・年齢が高くなるほど無理なく歩ける距離は短くなる 等

オンデマンド交通社会実験について (取組み状況)

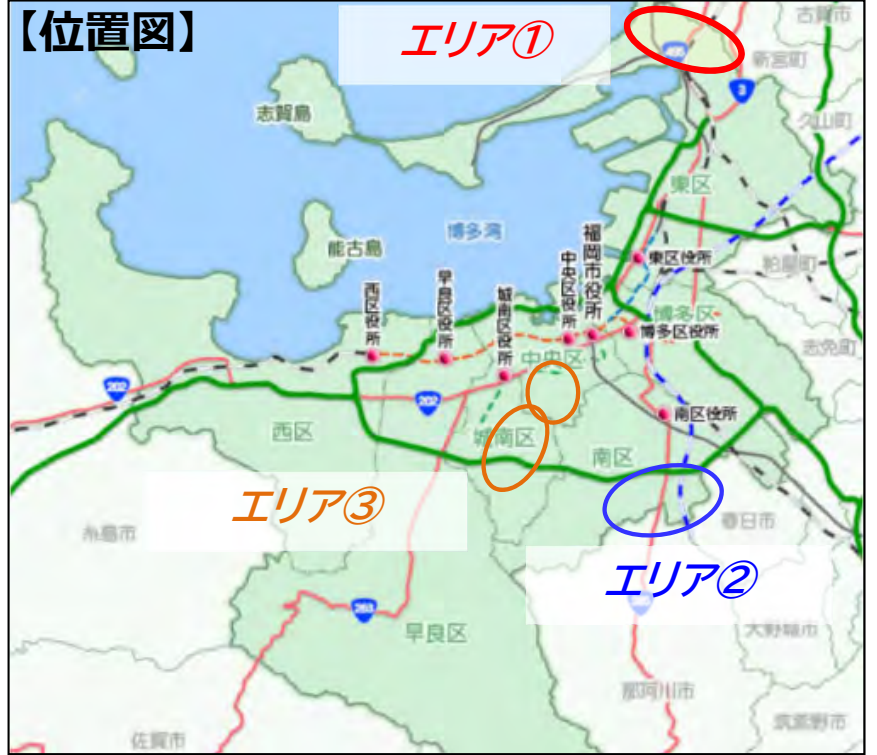
■ 各エリアの取組み状況

○ 市と共働で運行内容の検討や利用促進等に主体的に取り組む地域・交通事業者をそれぞれ募集のうえ決定、市内3エリアで社会実験に取り組んでいる。

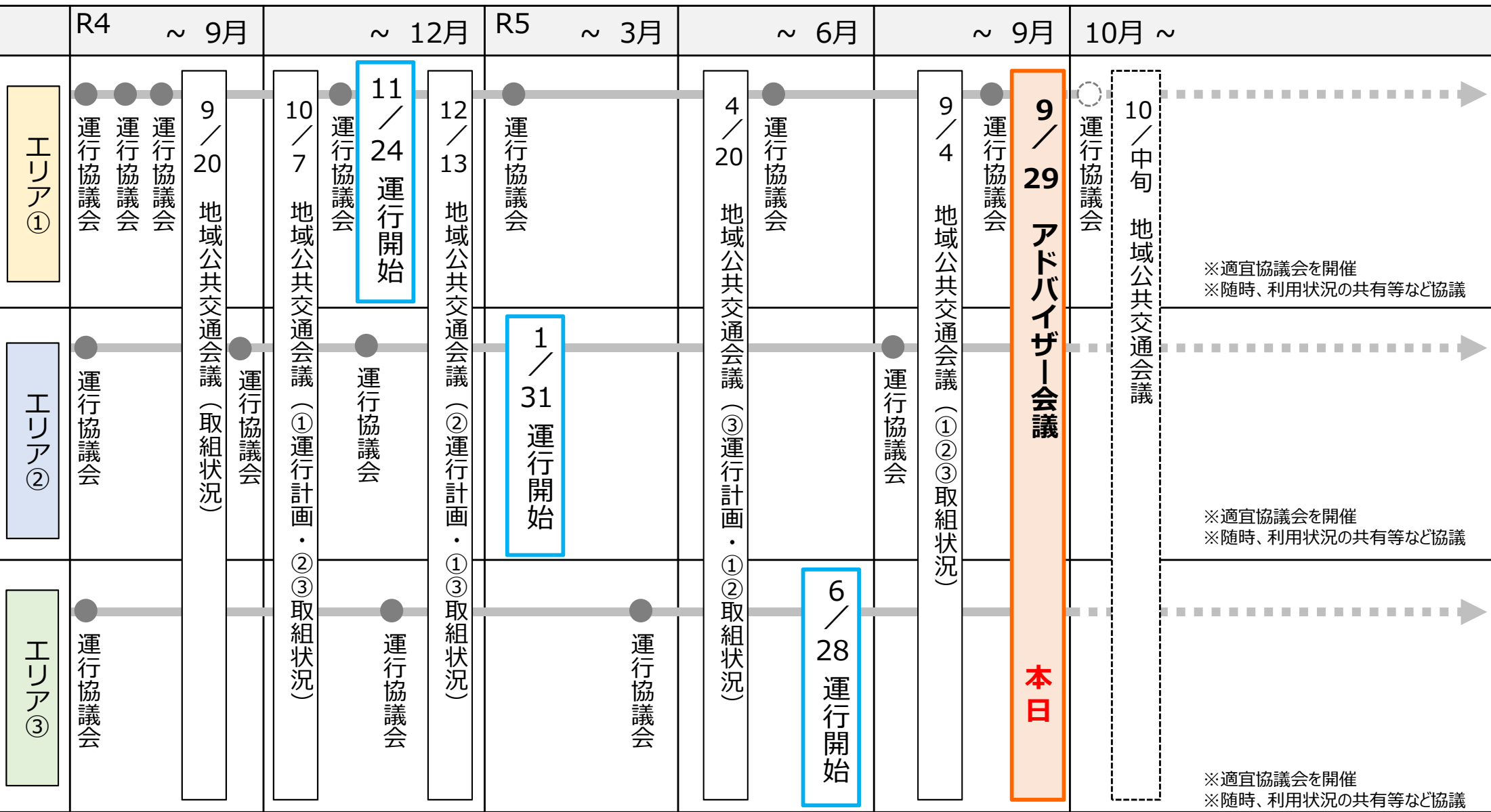


○ 各エリアにおいて、地域・交通事業者・市による運行協議会を立上げ、運行計画等の協議・検討を行っており、
 エリア①東区は令和4年11月24日、
 エリア②南区は令和5年1月31日、
 エリア③中央区・城南区は令和5年6月28日に運行を開始した。

エリア①東区	広域運行
エリア②南区	広域運行
エリア③中央区・城南区	曜日別運行



オンデマンド交通社会実験について (スケジュール)



※地域公共交通会議：地域の実情に応じた適切な乗合旅客運送の態様及び運賃等に関する事項、その他一般旅客自動車運送事業に関し必要となる事項を協議するため道路運送法等に基づき設置。地域の需要に即した運送サービスが提供されることにより地域住民の交通利便の確保・向上に寄与するよう努める。

※運行協議会：各エリアの取組み地域、交通事業者、市で、停留所など運行内容や利用促進策等の協議検討を行う。

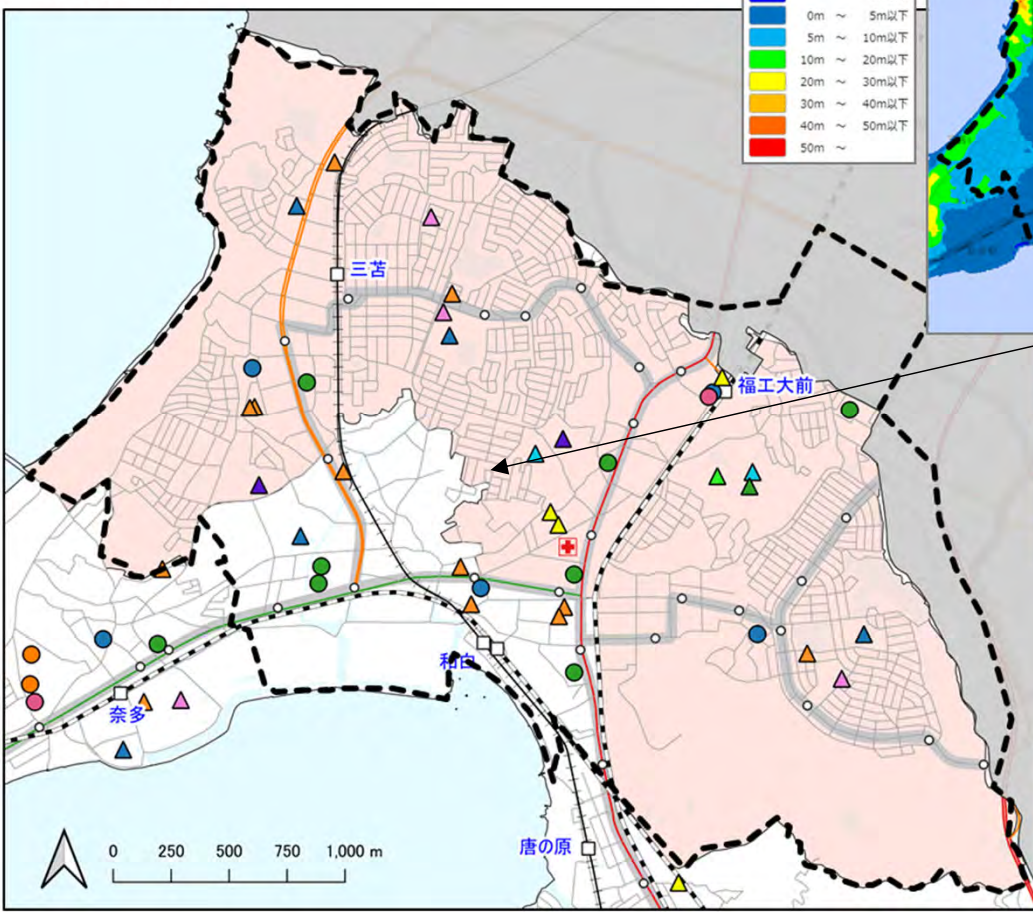
オンデマンド交通社会実験 「チョイソコふくおかエリア①東区」分析等について

1.エリア①東区概要

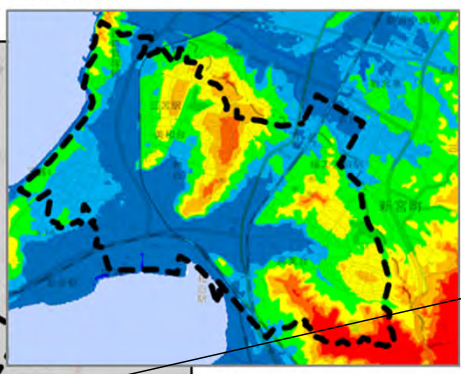
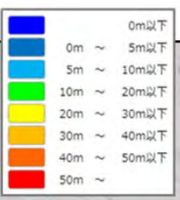
(1)地理的状況

・商業施設等が立地する幹線道路は低地にあり、戸建て住宅団地は高台に立地するため、買い物等の外出には、坂道での移動が生じ、特に高齢者等の困りごとになっている。

■地理的状況



【標高図】



人口	37,509人
面積	6.44km ²
地域の状況	一部地域でバス停等までの距離及び高低差あり
運行内容	広域運行

- 学校
- ▲ 小学校
- ▲ 中学校
- ▲ 高等学校
- ▲ 短期大学
- ▲ 大学
- ▲ 幼稚園
- 保育施設
- ▲ 保育所(園)
- ▲ 認可外保育施設
- 医療施設
- 福祉施設
- 商業施設
- 集会施設
- 公共施設

高齢化率
26%



■地域の移動に関する困りごと

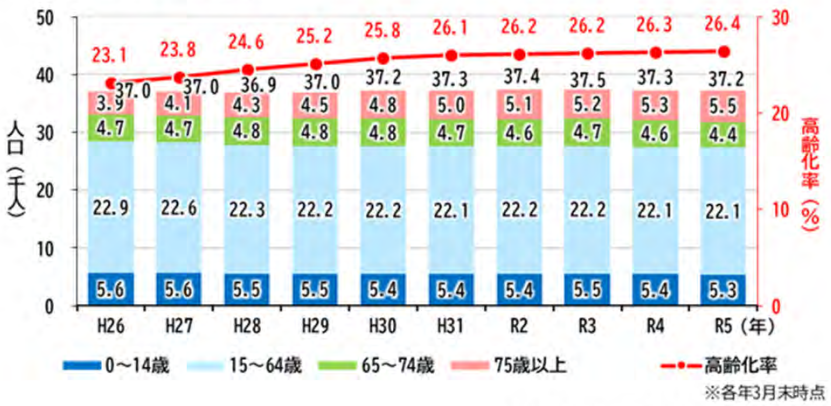
校区	地域の声
三苦	・起伏があり、道路の狭いところが多い
美和台	・高台で高低差があり、高齢者の買物や通院の交通手段の確保に苦慮している
和白東	・坂道、高台が散在している ・高齢者が多く、高齢者の買物や通院の交通手段の確保に苦慮している

1.エリア①東区概要

(2)人口特性等

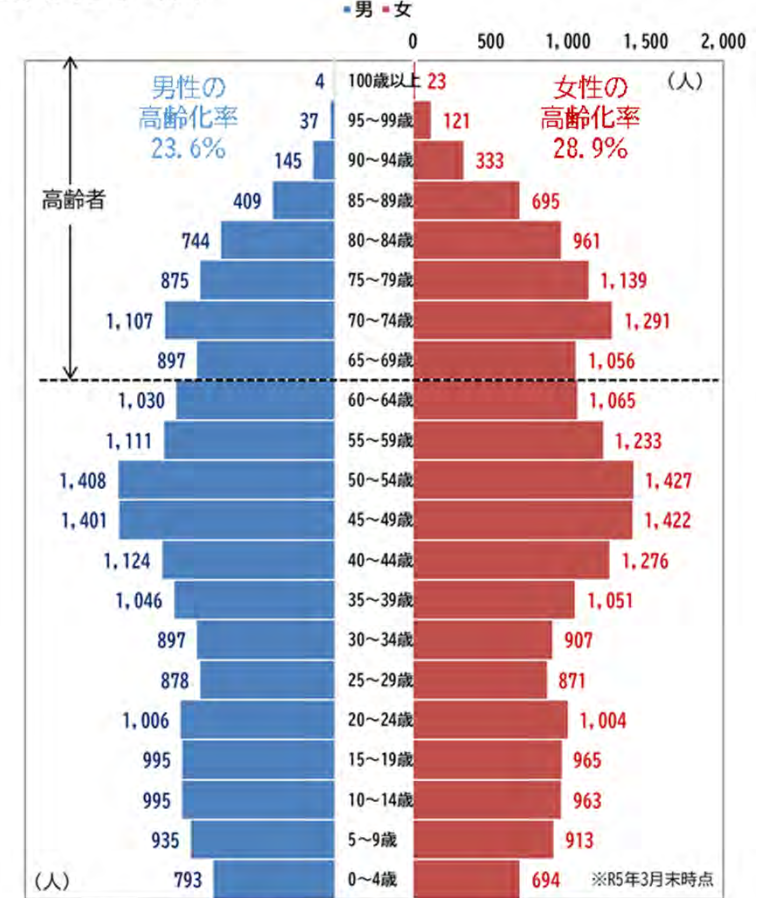
- ・取組み校区の人口は横ばい・微減で推移する中、高齢化率は上昇傾向であり、高齢者のみ世帯も増加。
- ・人口ピラミッドをみると、高齢層の予備群である60歳代前半や50歳代後半は、現在の60歳代後半よりも多く、今後も高齢者数は増える予測がうかがえる。

■エリアの人口推移



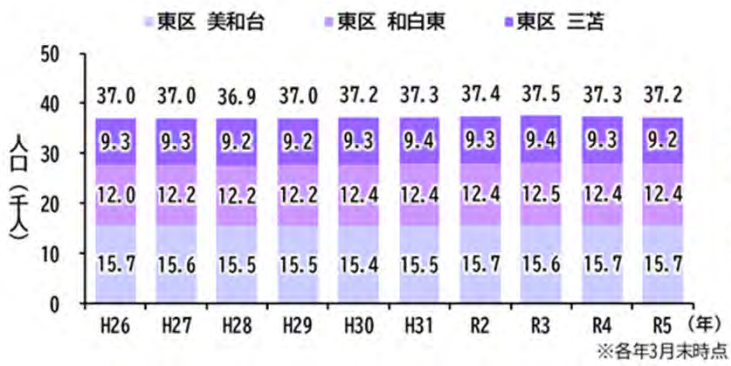
資料：福岡市住民基本台帳

■人口ピラミッド



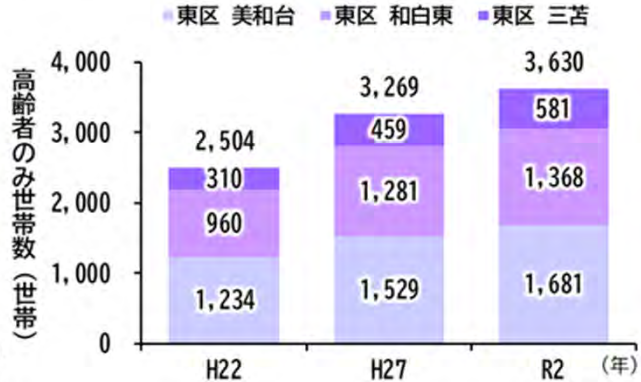
資料：福岡市住民基本台帳

■対象校区別人口推移



資料：福岡市住民基本台帳

■高齢者のみの世帯数推移



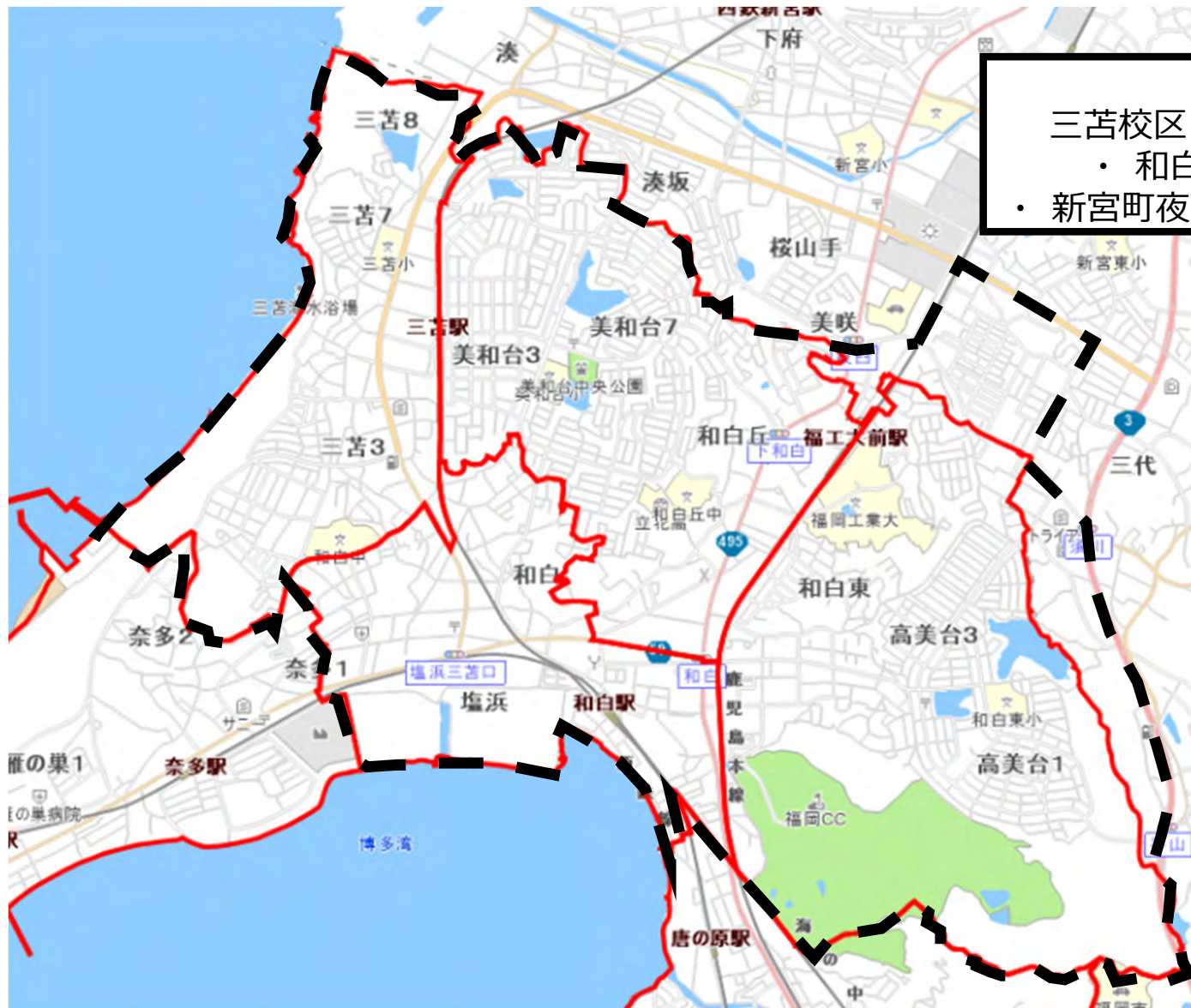
資料：国勢調査

2.運行概要

(1)運行サービス (R5.8.28時点)

項目		内容
運行サービス	名称	チョイソコふくおか エリア①東区
	運行区域	美和台・和白東・三苦校区 外
	停留所	88箇所 (当初 57箇所)
	運行方式	フルデマンド方式
	運行曜日	月、火、水、木、金 (運休：土日祝日・12月29日～1月3日)
	運行時間帯	8:00～18:00 ※内1時間は2回に分けてドライバー休憩時間あり
	予約方法	電話予約 (コールセンター) 、 インターネット予約
	予約受付時間	電話予約受付：8:00-17:30 、 インターネット予約受付：24時間 【予約可能期間：乗車希望日の1週間前～30分前まで】
	運賃設定	300円/ 1乗車・人
	割引の有無・内容	有 (障がい者、小学生は半額の150円)
	決済方法	現金、クレジットカード (事前のみ) 、交通系IC (電子マネー) 、iD ※R5n高齢者乗車券・福祉乗車券から「チョイソコ乗車券」(紙券) が選択可
	使用車両・定員 ・導入方法	使用車両
乗車定員		5名 (ドライバー1名、乗客4名まで)
導入方法		既存タクシー車両使用

(2)運行区域



運行区域
三苦校区・美和台校区・和白東校区
・和白校区・新宮町美咲2丁目
・新宮町夜臼1～6丁目・新宮町原上一部

[---] ……運行区域

2.運行概要

(3)停留所

チョイソコ
ふくおか

050-201-87015
aisin

停留所には看板が貼ってあります

2023年8月28日時点

チョイソコ
ふくおか

停留所MAP

エリア①東区
(美和台・和白東・三苫校区)



■停留所設置数の推移

時点	停留所数	停留所	
		住宅地等 停留所	ｽｯﾝｻｰ 停留所
運行開始	57	52	5
R5.1.30	59	53	6
R5.2.20	66	58	8
R5.3.15	71	59	12
R5.4.17	77	64	13
R5.5.29	79	65	14
R5.7.31	86	71	15
R5.8.28	88	71	17

- 住宅地等停留所
- 駅付近停留所
- ｽｯﾝｻｰ停留所

〔チョイソココールセンター〕

電話受付 1週間前～30分前まで

運行時間 8:00～18:00 (平日)

受付 ☎ 050-201-87015
(電話受付時間: 運行日/8:00～17:30)

※今後もｽｯﾝｻｰ停留所などは追加予定で
ず(病院・ｽｰﾊﾟｰなど)
会員登録された方に順次お知らせします。
※停留所は関係者協議により一部変更となる
可能性があります。

チョイソコは株式会社アインの登録商標です。

3.会員登録及び利用状況

(1)会員登録者・利用経験者数 ※7/31時点

- ・エリア①東区の会員登録者数は、R5.7.31時点で959人（うち高齢者は約7割）であり、徐々に増加。
- ・そのうち利用経験者は368人（うち高齢者は約8割）となっている。

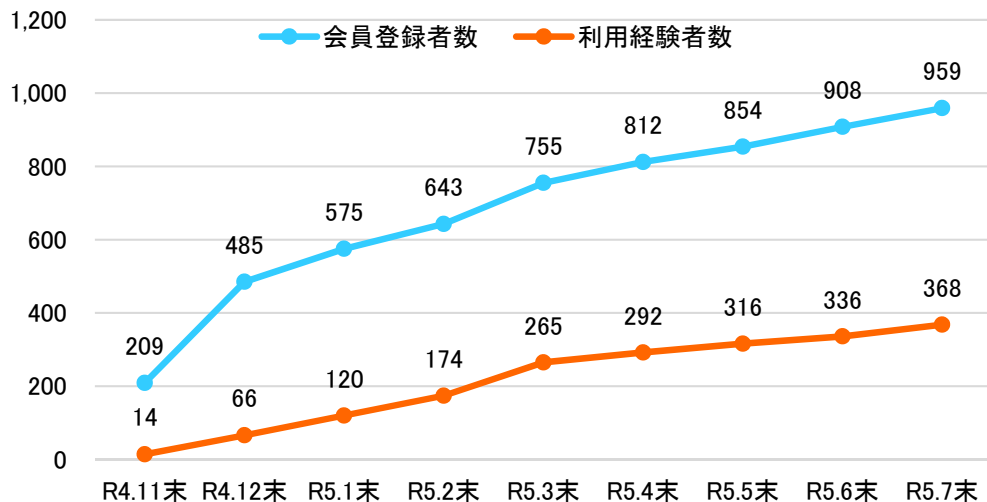
○地区別（人）

地区	会員登録者数 A	利用経験者数 B	割合 B/A	
エリア①東区	美和台	414	168	41%
	和白東	328	123	38%
	三苦	217	77	35%
	小計	959	368	38%
エリア②南区	350	93	27%	
エリア③中央区・城南区	370	36	10%	
その他・不明含む	365	82	22%	
合計	2,044	579	28%	

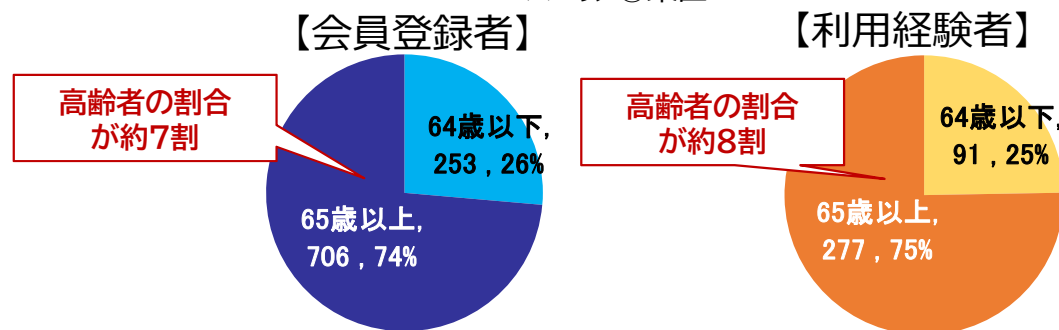
※会員登録時に登録した「最寄り停留所」から集計

※エリア①R4.11.24、エリア②R5.1.31、エリア③R5.6.28運行開始

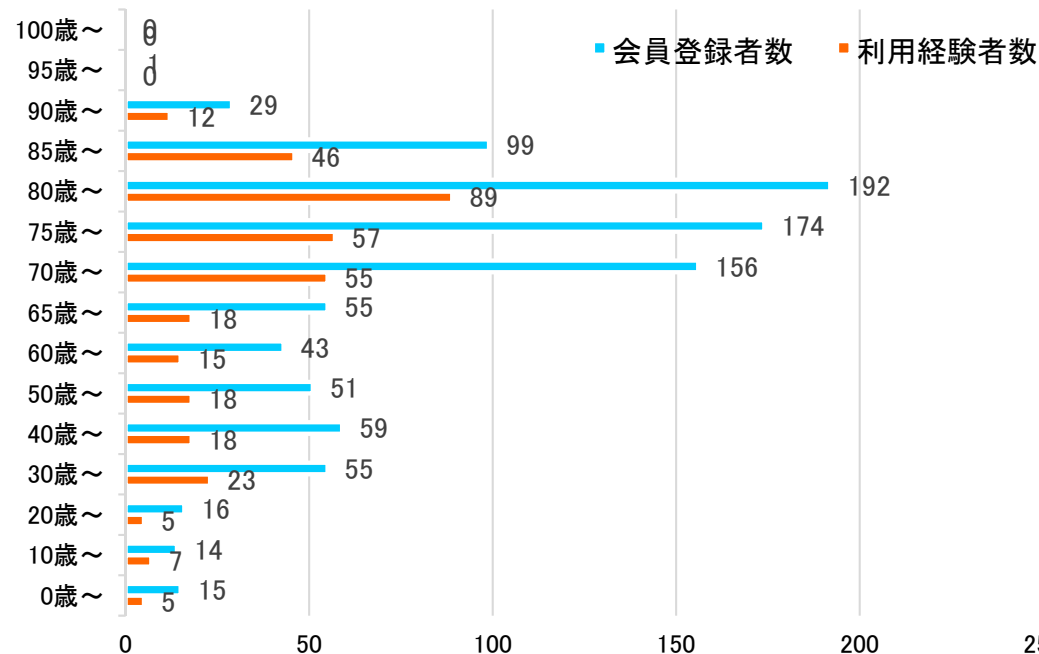
○エリア①東区の推移（人）



○高齢者の方の割合 ※エリア①東区



○年齢別（人） ※エリア①東区



3.会員登録及び利用状況

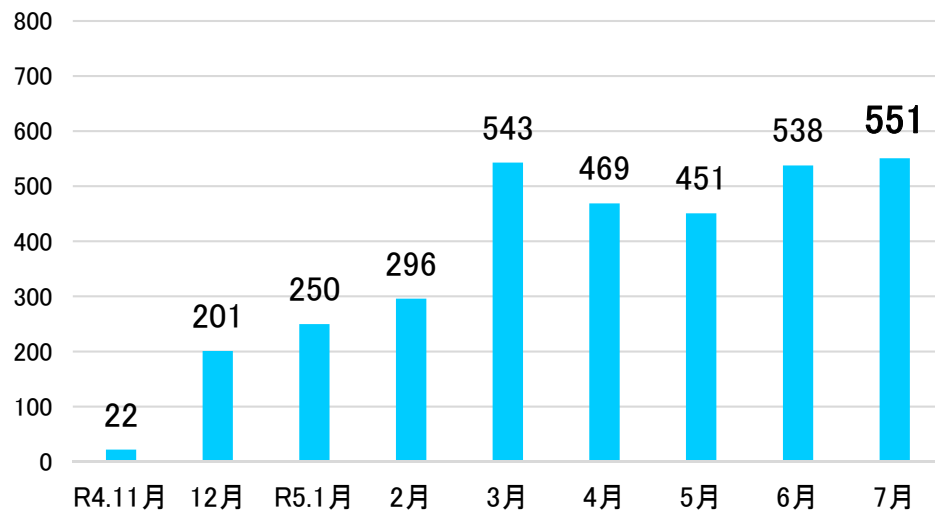
(2)利用者数（延べ） ※7/31時点

- ・R5.7月は月間延べ551人(前月比+13人)、1日当たり平均28人(前月比+4人)にご利用いただいた。
- ・目標(40人/日) を達成した日もあり、利用者は増加傾向にある。

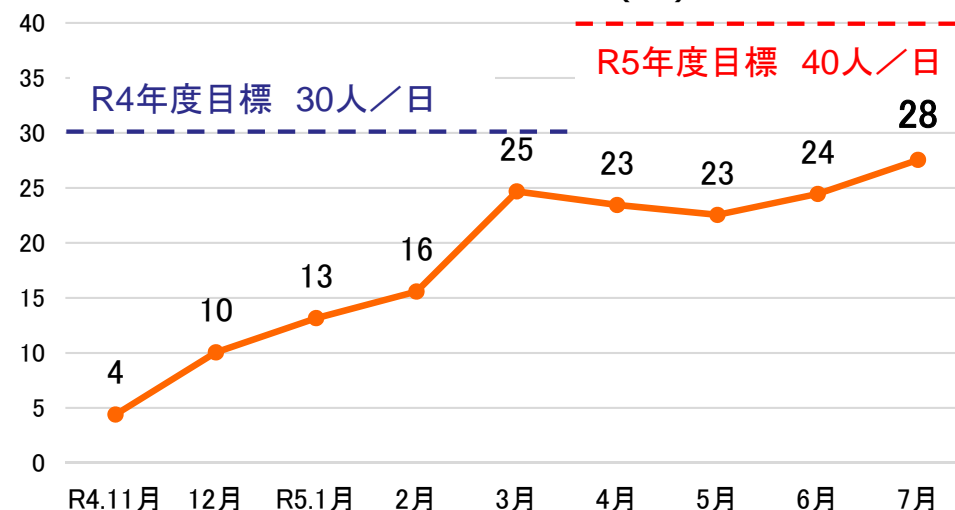
○月間・1日当たり平均利用者数の推移（人）

	月間延べ利用者数(人)		1日当たり平均利用者数(人)		運行 日数
		前月比		前月比	
R4.11月	22	-	4	-	5日
12月	201	179	10	6	20日
R5.1月	250	49	13	3	19日
2月	296	46	16	3	19日
3月	543	247	25	9	22日
4月	469	▲ 74	23	▲ 2	20日
5月	451	▲ 18	23	0	20日
6月	538	87	24	1	22日
7月	551	13	28	4	20日

【月間延べ利用者数(人)】



【1日当たり平均利用者数(人)】



3. 会員登録及び利用状況

(3) その他利用状況※7/31時点

・駅や病院、買い物先、公民館などの停留所の利用が多い。

○利用が多い停留所（上位20箇所）

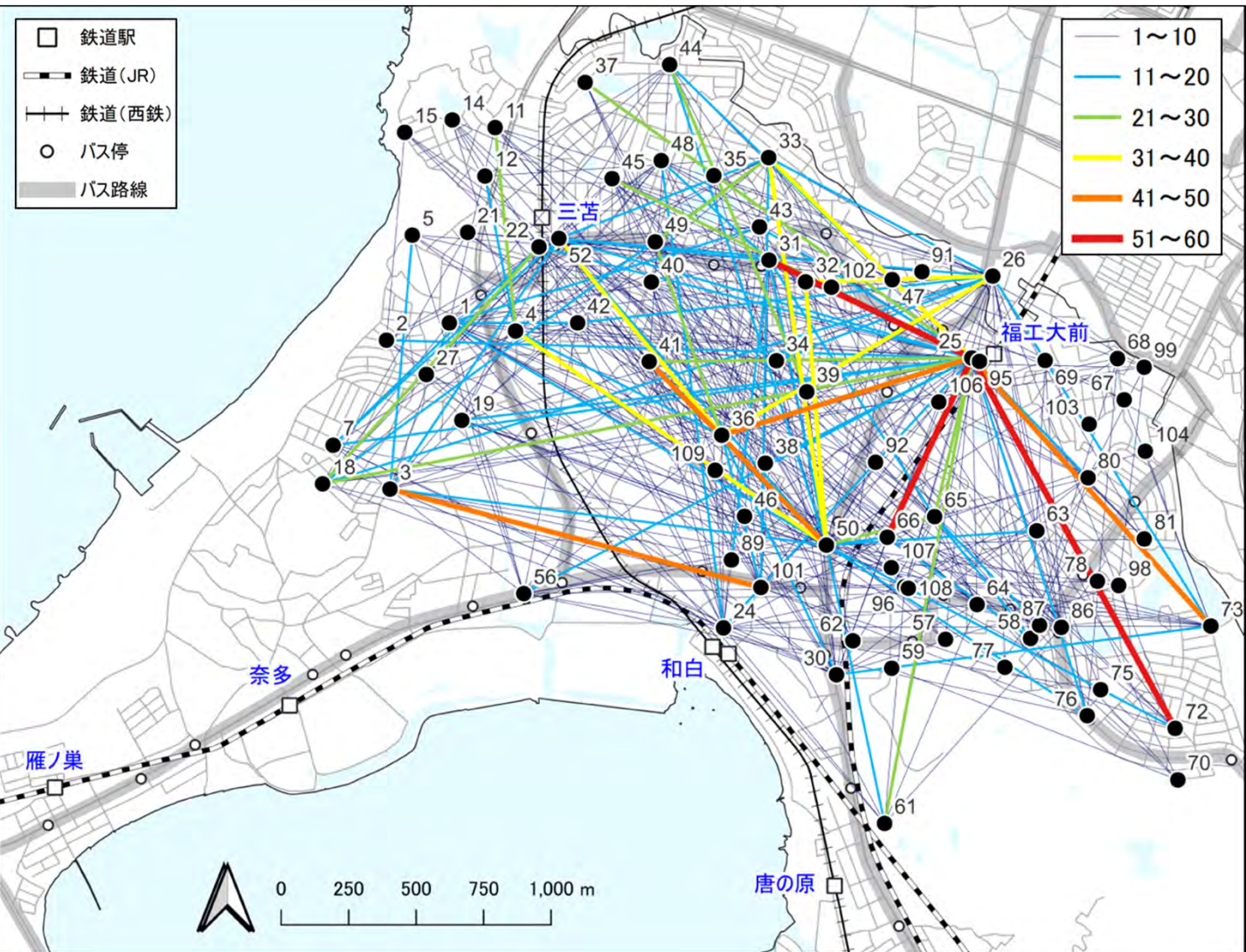
	停留所番号	停留所名	乗降合計（回）	割合
1	25	JR福工大前駅	908	14%
2	50	福岡和白病院	722	11%
3	36	美和台8号公園	375	6%
4	26	ハローデイ新宮店	323	5%
5	33	美和台6丁目12	232	3%
6	52	M's 美和台店	222	3%
7	18	老人ホーム長雲荘	206	3%
8	101	まつもと整形外科クリニック	193	3%
9	31	美和台公民館	180	3%
10	4	三苦4・5丁目集会所	144	2%
11	66	裏の前公園	142	2%
12	65	上和白公園	139	2%
13	3	三苦2丁目集会所	136	2%
14	1	三苦公民館（三苦老人いこいの家）	131	2%
15	73	高美台1丁目3区集会所	122	2%
16	22	西鉄三苦駅三苦側	119	2%
17	41	美和台2丁目集会所	112	2%
18	49	あんどろクリニック内科 消化器内科	109	2%
19	30	ベルコシティホール東福岡	109	2%
20	32	美和台1丁目8	108	2%

3.会員登録及び利用状況

(3)その他利用状況※6/30時点

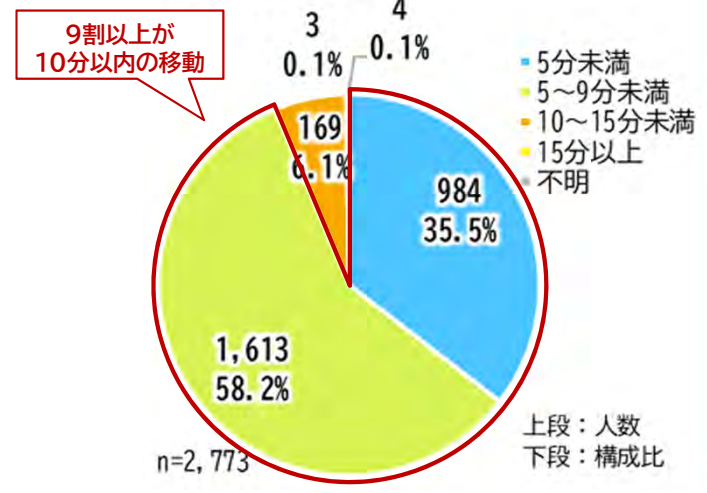
・自宅近くの停留所から駅や病院、買い物先への利用が多い。

○移動の傾向 (OD図)



乗車・降車の合計が多い順 (上位10位)	利用者数
①25_JR福工大前駅	769
①50_福岡和白病院	634
①36_美和台8号公園	310
①26_ハローデイ新宮店	251
①33_美和台6丁目12	191
①52_M's美和台店	184
①18_老人ホーム長雲荘	173
①31_美和台公民館	163
①101_まつもと整形外科クリニック	143
①4_三苦4・5丁目集会所	125

【参考】利用ごとの所要時間

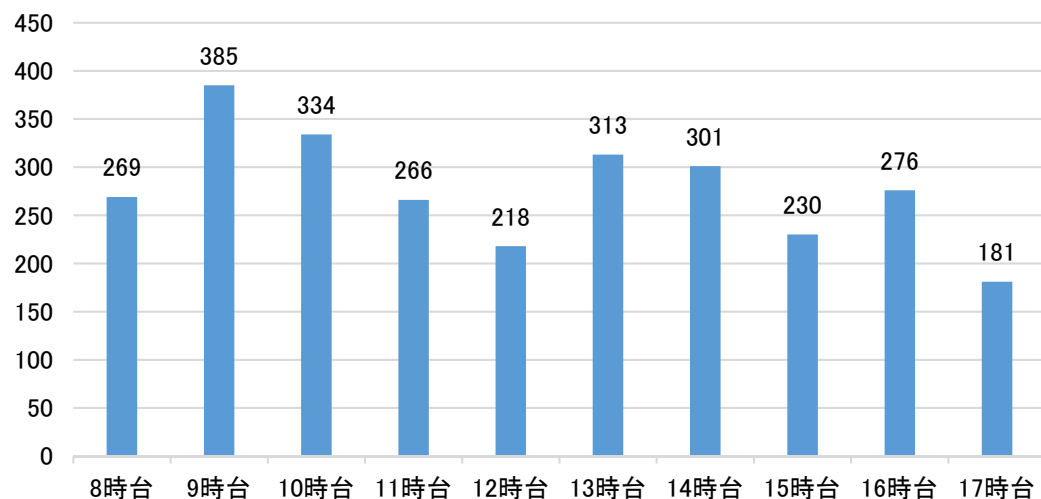


3.会員登録及び利用状況

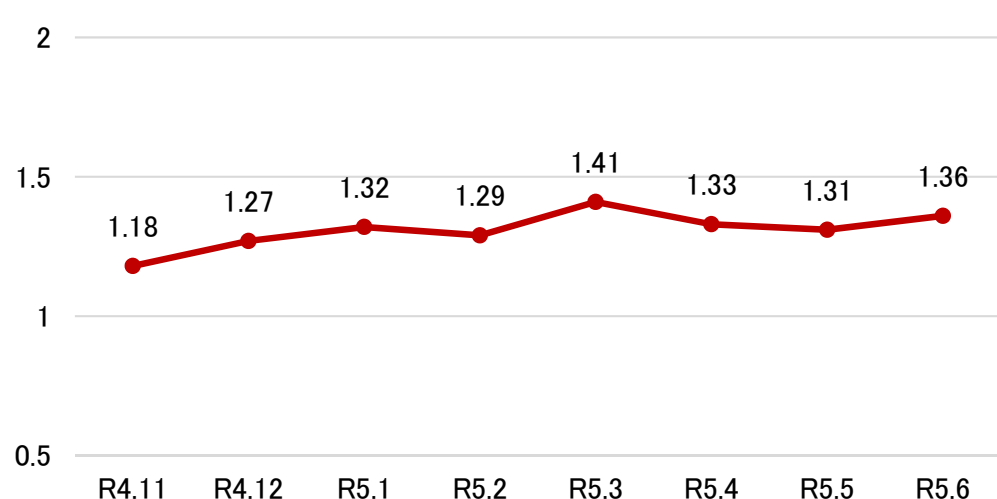
(3)その他利用状況※6/30時点

- ・時間帯別にみると、午前9時台、10時台、午後13時台の利用が多い。
- ・6月は、平均すると約1.4人が乗り合わせしている。
- ・予約方法別にみると、電話予約が約8割、WEB予約が約2割を占める。

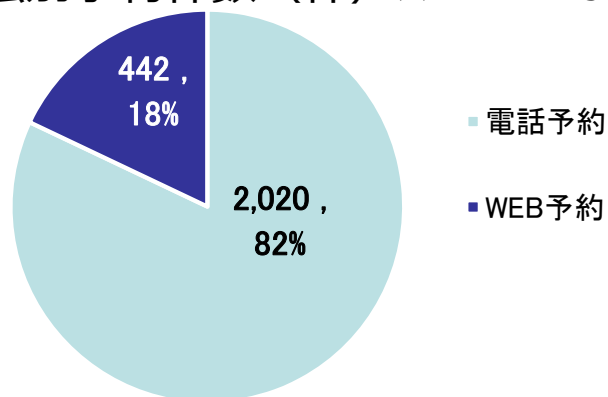
○時間帯別利用者数（人） ※R4.11~R5.6累計



○乗合率



○予約方法別予約件数（件） ※R4.11~R5.6累計



3.会員登録及び利用状況

(4)利用促進策

■チラシ全戸配布 (9月・10月)

■パンフレット・チラシ公民館配架 (随時)

■チョイソ通信 会員送付 (2月・6月)

■動画作成 ※説明会・公民館などで放映

チョイソ通信	名	チョイソ通信
53 福岡市南区	美和会 大塚	25 美和会 大塚
49 美和会 ラクシニコック 西尾 西尾内科	高尾 三太郎 (東尾山口)	52 M+ 美和会 西尾
30 ヘルパーステイション	高尾 三太郎 (西尾山口)	22 高尾 三太郎 西尾
26 ヘルパーステーション	美和会 西尾山口	24 高尾 三太郎 (西・高尾山口)
53 M+ 美和会	大塚 (西尾山口)	チョイソ通信
66 M+ 美和会 西尾山口	高尾 三太郎 (西尾山口)	高尾 三太郎 西尾
64 フコソラシオ 西尾山口	西尾 三太郎	52 M+ 美和会 西尾
21 カン	大塚 西尾山口	76 M+ 美和会
	美和会 大塚	86 M+ 美和会 西尾山口

チョイソセンター 050-201-87015 (運行日/8:00~17:30)
 各エリアの運営や最新情報は「チョイソくおか」のホームページで掲載されています。
 ぜひご覧ください。 <http://www.choyso.co.jp/fukuoaka>

3. 会員登録及び利用状況

(4) 利用促進策

■ 住民説明会

日付	対象等	人数
R4.10.21	和白東校区民生委員	約40人
R4.11.4	美和台校区自治協議会理事会	約30人
R4.11.4	和白東校区自治協議会理事会	約30人
R4.11.18	三苦校区民生委員	約10人
R5.1.28	三苦校区老人クラブ	約10人
R5.4.22-23	美和台校区各種団体総会	- (受付ブース設置)

■ ホームページ作成



■ 福岡市政だより（東区版）

「オンデマンド交通」を利用しませんか

美和台・和白東・三苦校区エリアで、予約型運行サービス「オンデマンド交通」の社会実験を実施しています。タクシー車両＝写真＝で、利用者の自宅近くなどにある停留所から目的地近くの停留所まで最適なルートを選び、乗り合わせて運行します。運行時間は、平日（土日祝日、年末年始除く）の午前8時～午後6時。1乗車300円。利用方法等は、ホームページ（「チョイソコぷくおか」で検索）または右下のコードから確認を。利用予約など：専用コールセンター ☎050-201-87015、記事に関すること：市交通計画課 ☎711-4393 ☎733-5590



■ 福岡市SNS



3. 会員登録及び利用状況

(4) 利用促進策

■ 公民館だより等掲載

(和白東校区)



(三苦校区)



(美和台校区)

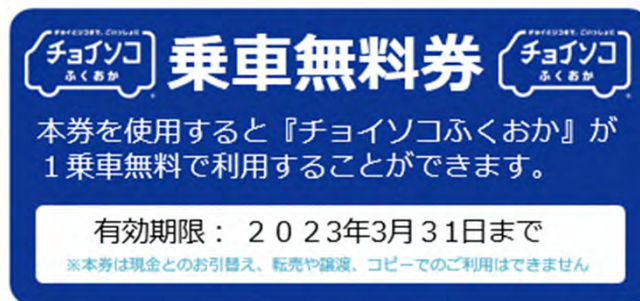
《オンデマンド交通社会実験からのお知らせ》
 社会実験のご案内は、各ご家庭に配布お知らせしておりますが、令和4年11月24日から運行が開始されております。
 令和4年12月末までに会員登録された方には、無料乗車券（往復利用600円分）が配布されておりますので、社会実験「チョイソコタクシー」の利便性を知る上でも、是非とも利用期限までにご利用ください。※停留所マップ裏面参照
 ご不明な点は、自治協事務局へお問い合わせください。
 （乗車券有効期限） 令和5年3月31日まで
 （問合せ先） 美和台校区自治協議会事務局（公民館内）電話 607-0294

チョイソコとは？

ちょっと速い... 荷物が重い... 歩くのが大変...

こんなときチョイソコが便利です！

■ 無料乗車券



対象：2022年12月末までに会員登録された方
 配布無料券：2乗車分（最大600円相当、往復利用を想定）
 配布方法：会員証郵送時に同封
 有効期限：2023年3月31日まで

エリア①	配付枚数 (1名あたり2枚)	利用枚数
R4.11月	598	11
12月	536	98
R5.1月		98
2月		90
3月		194
計	1,134	491

3. 会員登録及び利用状況

(4) 利用促進策

■ 車両お披露目・試走式 (10月)



■ チョイソコイベント企画

日時：2023年7月3日 (月) 10時-11時30分

場所：ベルコシティホール東福岡 (停留所No.30)

実施内容：①自分らしい終活セミナー (ベルコ様)

②転倒防止セミナー (アシックス様)

開催告知方法：6月発行のチョイソコ通信にチラシ同封

いま考える!
自分らしい終活

ベルコシティホール東福岡から今考えて! be@xco
終活とは? 話題の家族葬とは?

7/3 10:00
約20名 (チョイソコ会員登録限定)
11:30

まだ元気!!
いまだから
できること

転倒防止教室

あなたの足の年齢は何歳?

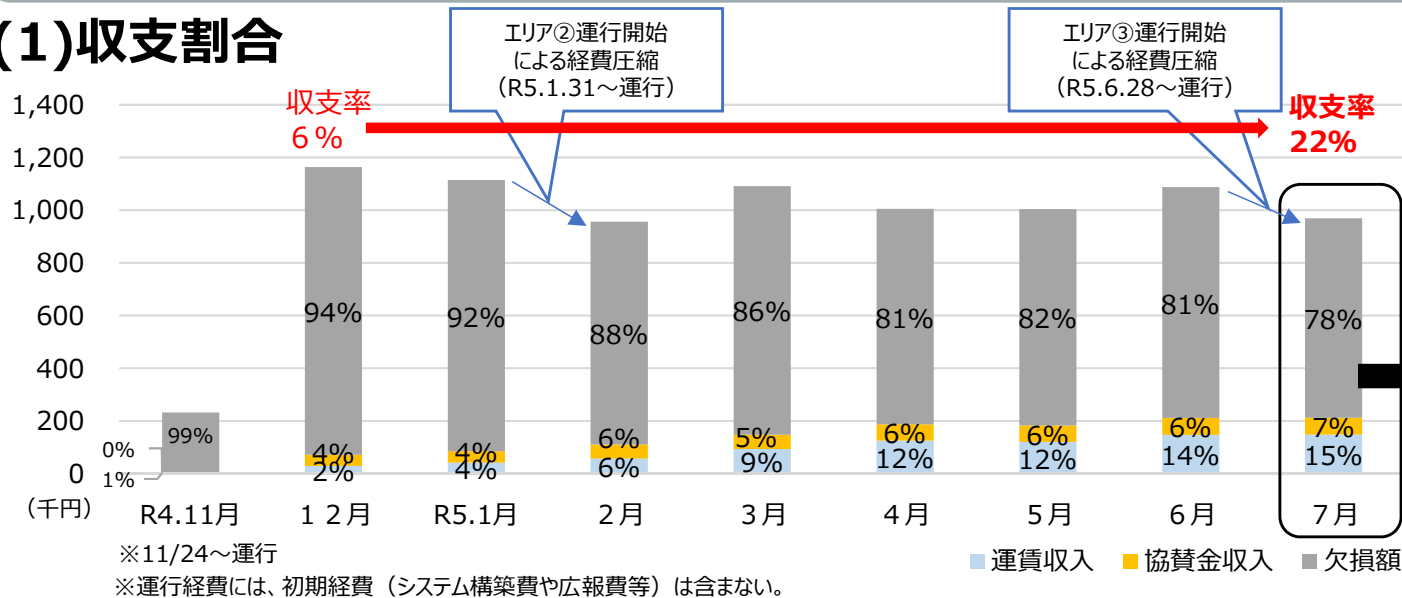
チョイソコセンター 050-201-87015



4.収支状況

- ・収支状況は、徐々に改善しており、7月時点で収支率が約20%となっている。
- ・スポンサー契約数は徐々に増加しており、協賛金は7月時点で約6万円である。

(1)収支割合

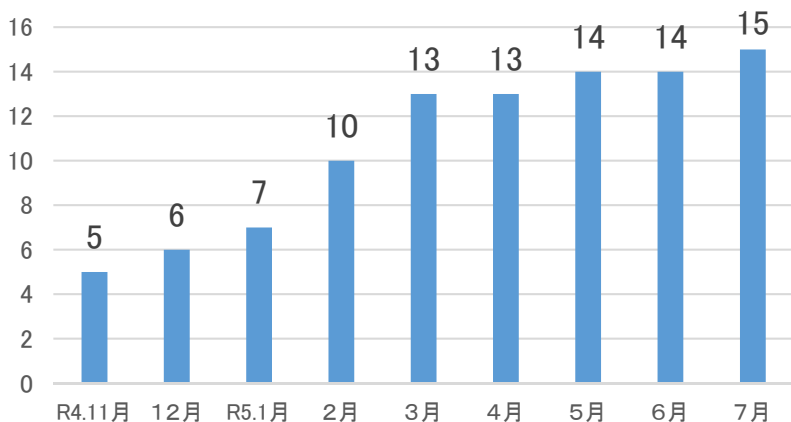


利用者1人当たり 約1,400円
※7月利用者数 551人

R5.7月実績		
欠損額(市負担金見込み)		約76万円
収入	協賛金収入	約6万円
	運賃収入	約15万円
運行経費 (人件費、燃料油脂費、システム運用費など) ※経費等は運行日数により変動		約97万円

(2)スポンサー数

○スポンサー契約数の推移



○スポンサー契約の状況

エリア①東区

●ゴールドスポンサー.....



●シルバースポンサー.....



永野外科胃腸科医院



●ブロンズスポンサー.....



※スポンサープランにより広告の大きさ等が変化

●ホワイトスポンサー.....



(1)調査の目的・概要

○利用者の利便性向上や事業者の運行効率化等を図っていくため、取組み校区の住民及び会員登録者を対象に、アンケート調査を実施。

	①住民アンケート	②会員アンケート
主体	市	交通事業者（チョイソコグループ）
対象	福岡市東区（美和台・三苫・和白東校区） 在住の18歳以上の男女 1,000人 ※無作為抽出： <u>非会員含む</u>	チョイソコふくおかエリア①会員 1,030人 （調査票発行数：715世帯）
調査方法	郵送による配付・回収	チョイソコ通信（会報誌）に同封し郵送・回収
調査時期	令和5年6月14日～7月3日	令和5年6月9日～7月3日
有効回収数（率）	238サンプル（23.8%）	249サンプル（24.2%）

5.アンケート調査結果

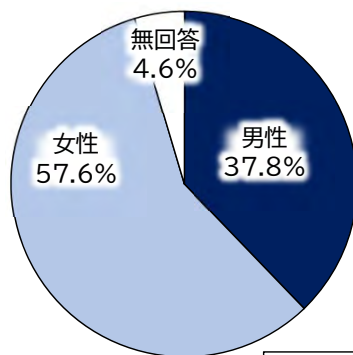
(2)主な調査結果

○回答者の属性

①住民アンケート

<性別>

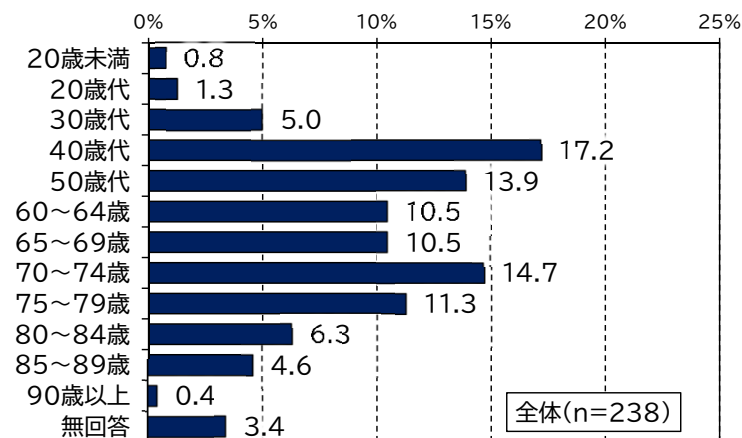
男性が約4割、女性が約6割となっている。



全体(n=238)

<年齢>

65歳以上が約5割、40～50歳台が約3割を占める。

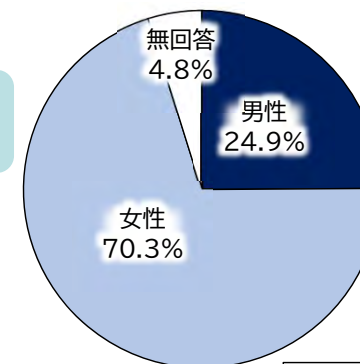


全体(n=238)

②会員アンケート

<性別>

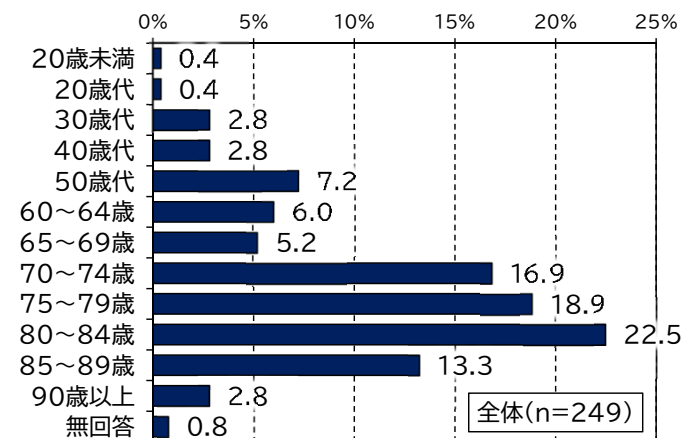
男性が約3割、女性が約7割となっている。



全体(n=249)

<年齢>

65歳以上が約8割、40～50歳台が約1割を占める。



全体(n=249)

5.アンケート調査結果

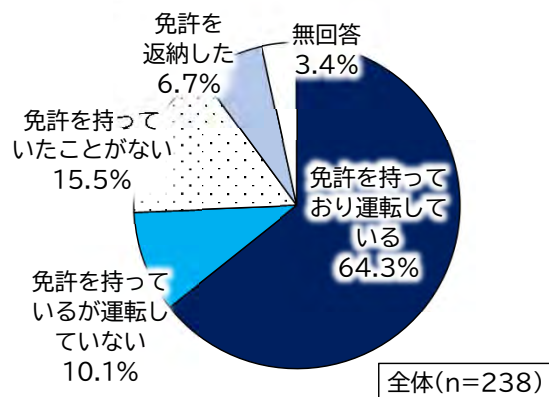
(2)主な調査結果

○回答者の属性

①住民アンケート

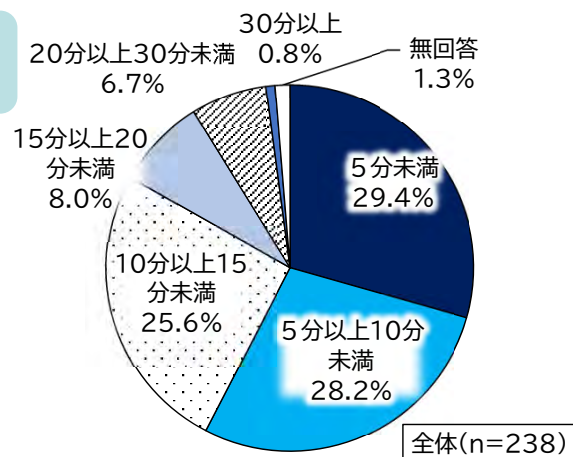
<自動車免許・運転の状況>

運転している方が約6割、
免許返納者が約1割を占める。



<最寄り駅・バス停までの所要時間>

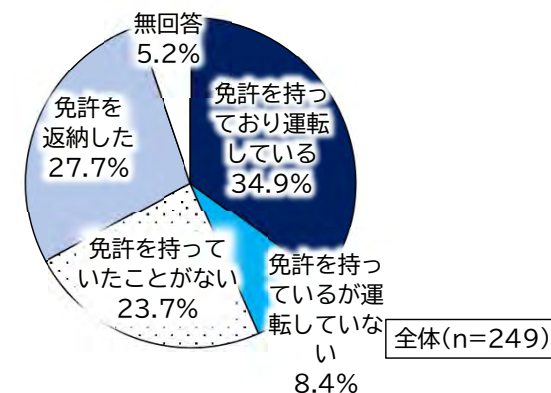
10分以上の方が約4割、
を占める。



②会員アンケート

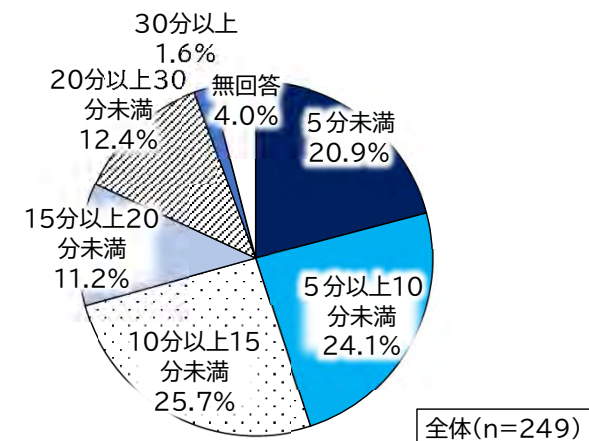
<自動車免許・運転の状況>

運転している方が約3割、
免許返納者が約3割を占める。



<最寄り駅・バス停までの所要時間>

10分以上の方が約5割を
占める。



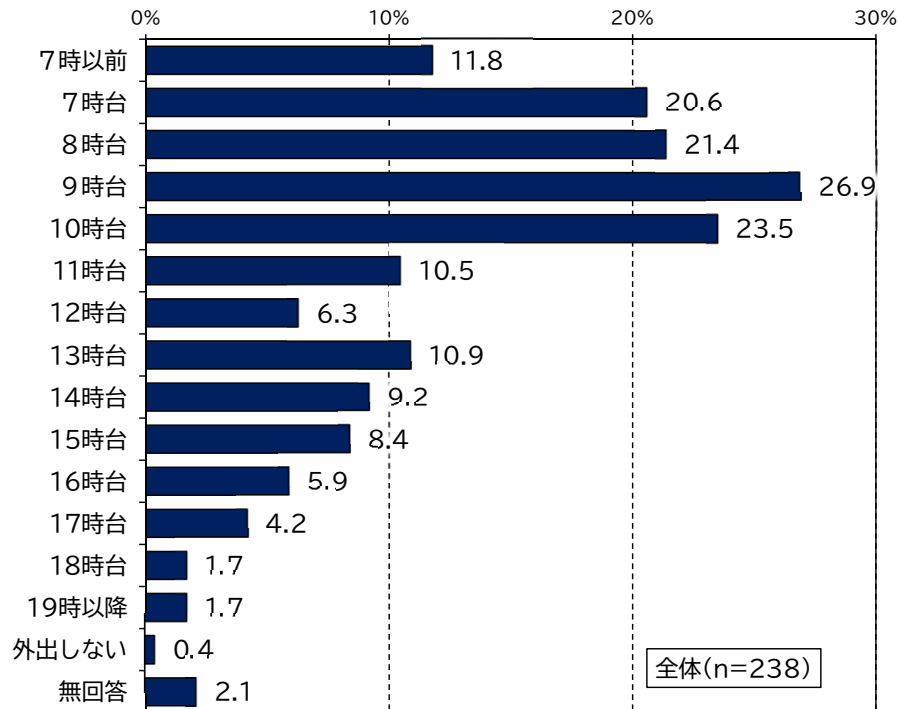
(2)主な調査結果

○回答者の行動

①住民アンケート

<外出の時間帯>

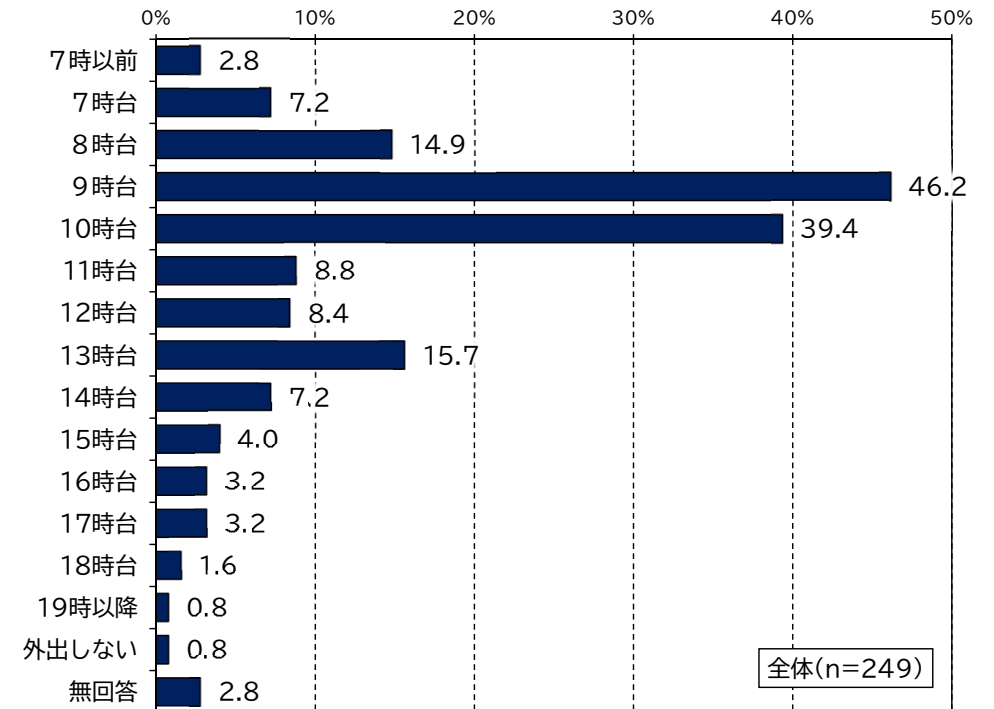
9時台の割合が最も多く、次いで10時台、8時台、7時台となっている。



②会員アンケート

<外出の時間帯>

9時台の割合が最も多く、次いで10時台、13時台、8時台となっている。



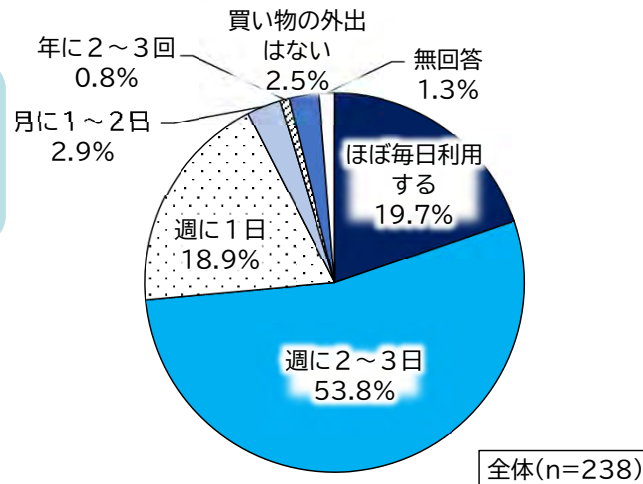
(2)主な調査結果

○回答者の行動

①住民アンケート

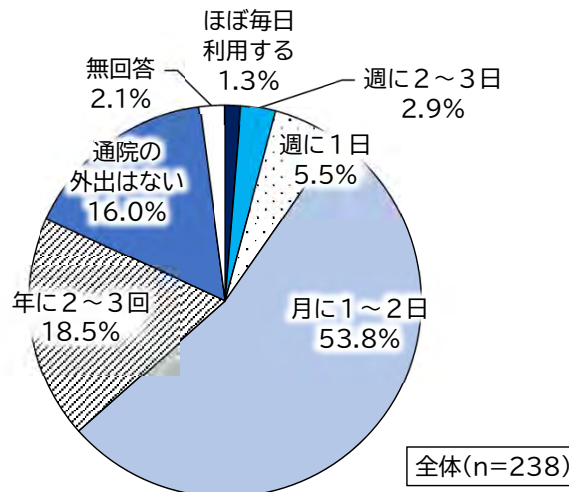
<買い物頻度>

週に2～3日の割合が約5割、ほぼ毎日が約2割、週1日が約2割を占める。



<通院頻度>

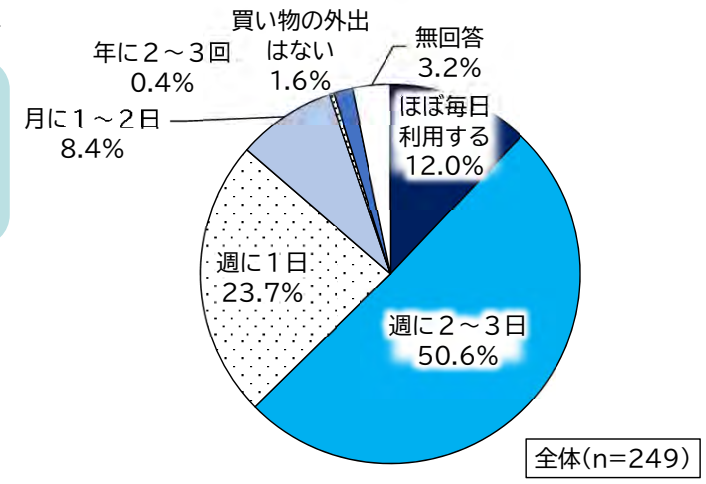
月に1～2日の割合が約5割、年に2～3回が約2割を占める。



②会員アンケート

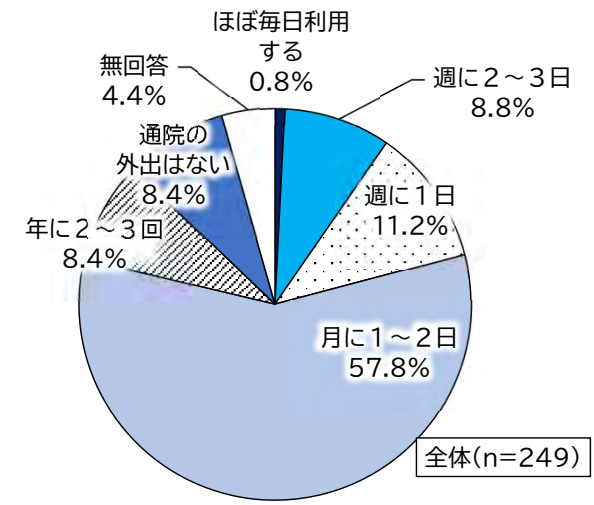
<買い物頻度>

週に2～3日の割合が約5割、ほぼ毎日が約1割、週1日が約2割を占める。



<通院頻度>

月に1～2日の割合が約6割、週に1日が約1割、年に2～3回が約1割を占める。

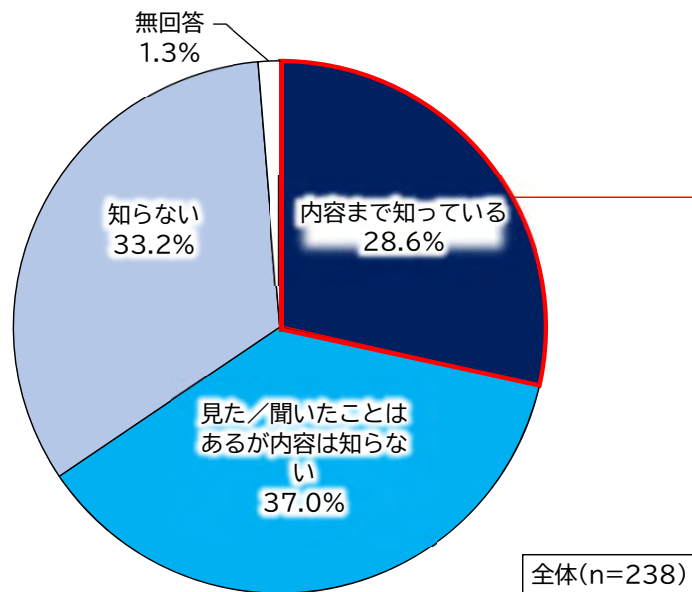


(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ①住民アンケート

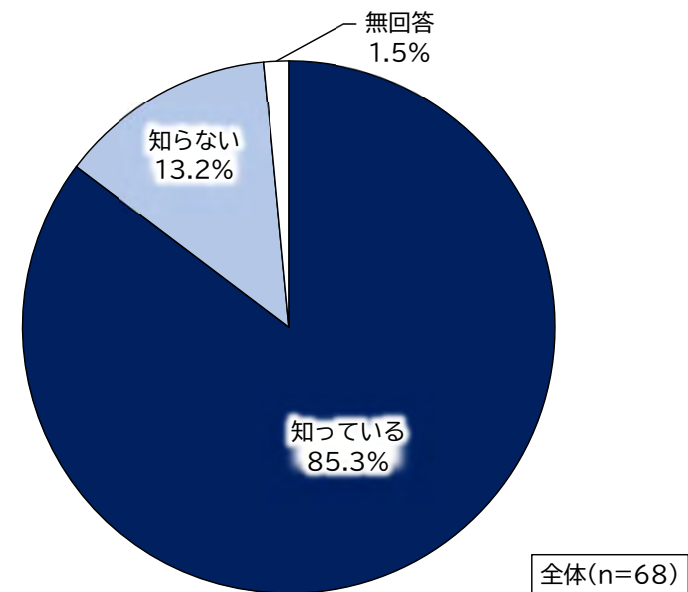
<認知度>

「チョイソコふくおか」の認知状況について、「内容まで知っている」が約3割、「見た／聞いたことはあるが内容は知らない」が4割で、およそ3分の2を占めている。一方、「知らない」は約3割となっている。



<仕組みの認知度>

チョイソコの「内容まで知っている」と回答された方に、「チョイソコふくおか」が利用者の運賃、スポンサーの協賛金、市の負担金等により運行している仕組みについてたずねたところ、「知っている」は約9割、「知らない」は約1割となった。



【参考：設問】 チョイソコは、利用者の運賃、スポンサーの協賛金、市の負担金等により運行しています。この仕組みについてご存知ですか。

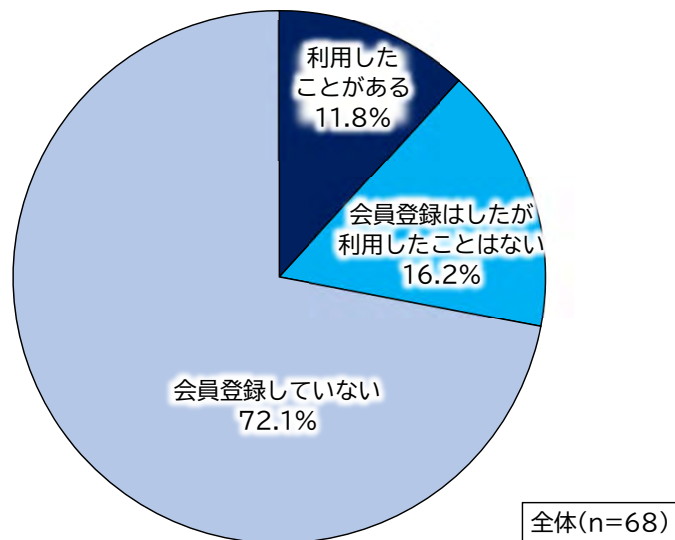
(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見

①住民アンケート

<会員登録・利用有無>

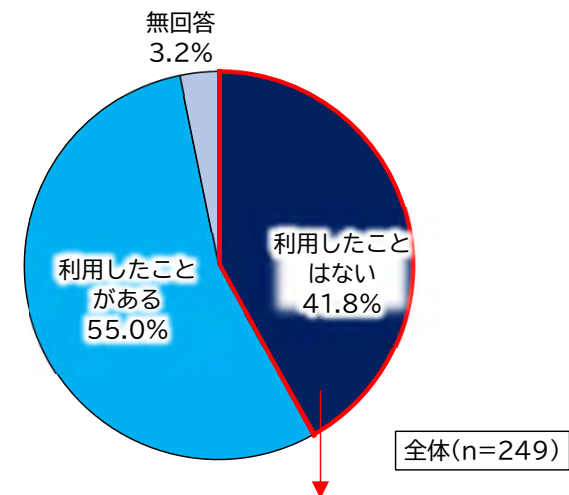
「チョイソコふくおか」の内容を知っていると回答した方のうち、「利用したことがある」が約1割、「会員登録はしたが利用したことはない」が約2割で、会員登録者の割合は約3割を占めた。一方、「会員登録していない」の割合は約7割となっている。



②会員アンケート

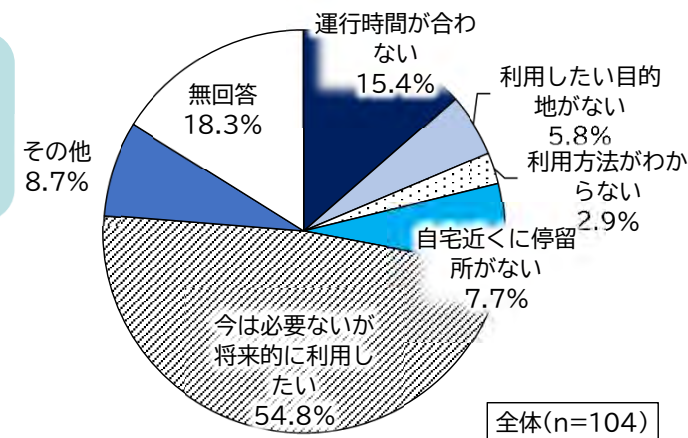
<利用の有無>

「利用したことがある」が約6割、「利用したことはない」が約4割を占めた。



<未利用の理由>

「今は必要ないが将来的に利用したい」が約5割、「運行時間が合わない」が約2割を占める。



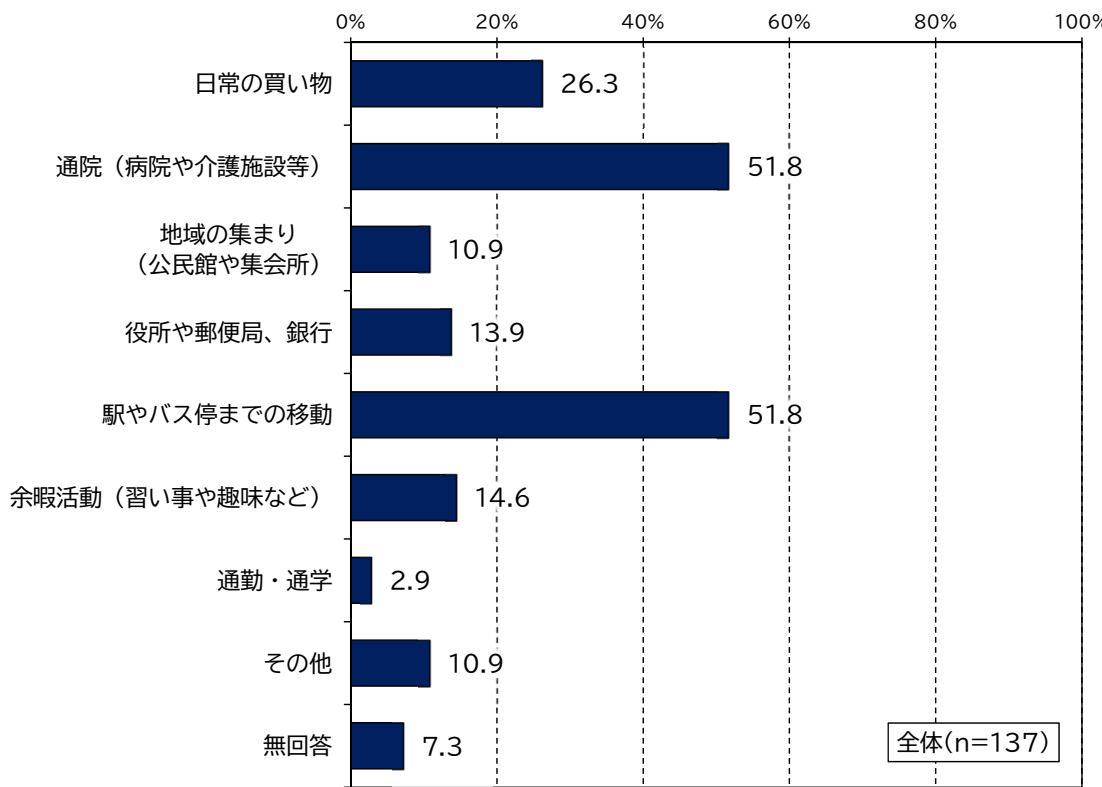
5.アンケート調査結果

(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

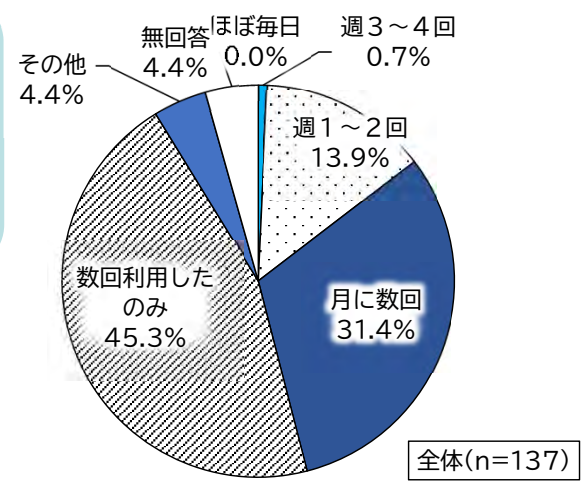
<チョイソコの主な利用目的>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方の利用目的としては、「通院」及び「駅やバス停までの移動」が51.8%と最も多く、「日常の買い物」が26.3%となっている。



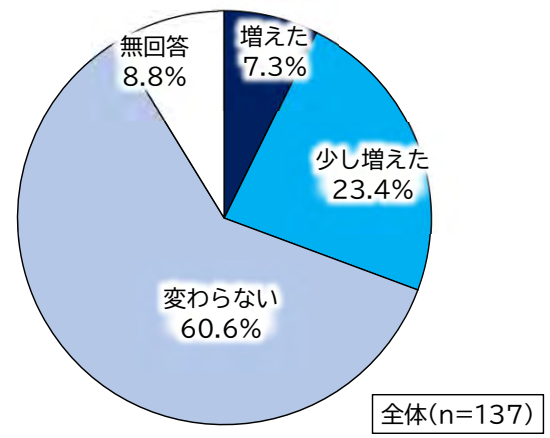
<チョイソコの利用頻度>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方の利用頻度としては、「数回利用したのみ」が約5割、「月に数回」が約3割、「週1～2回」が約1割を占めている。



<外出頻度の変化>

「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方のうち、外出頻度が増えた方が、「増えた」(7.2%)、「少し増えた」(23.9%)と、約3割を占めている。

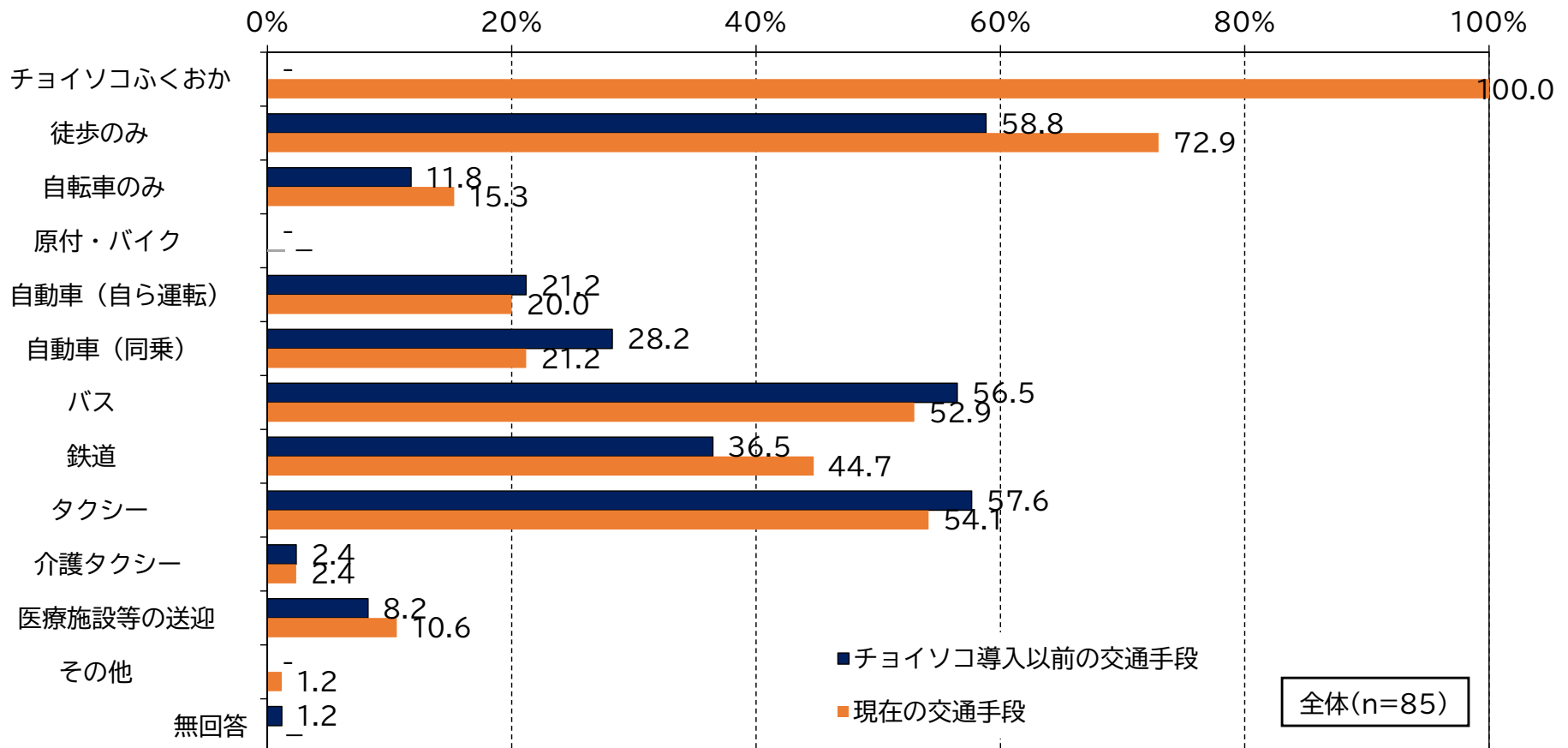


(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

<チョイソコ利用者の交通手段（チョイソコ導入前後）>

- ・日常生活（買い物、通院、通勤、地域の集まりなど）の外出にチョイソコを使用している方の、チョイソコ導入以前の交通手段と、現在の交通手段を比較すると、「徒歩のみ」が14.1%増加、「鉄道」が8.2%増加する一方、「自動車（同乗）」が7.1%減少、「バス」が3.6%減少、「タクシー」が3.5%減少した。
- ・半数以上の方が、チョイソコと、バス・タクシーなどの既存の公共交通を併用している。



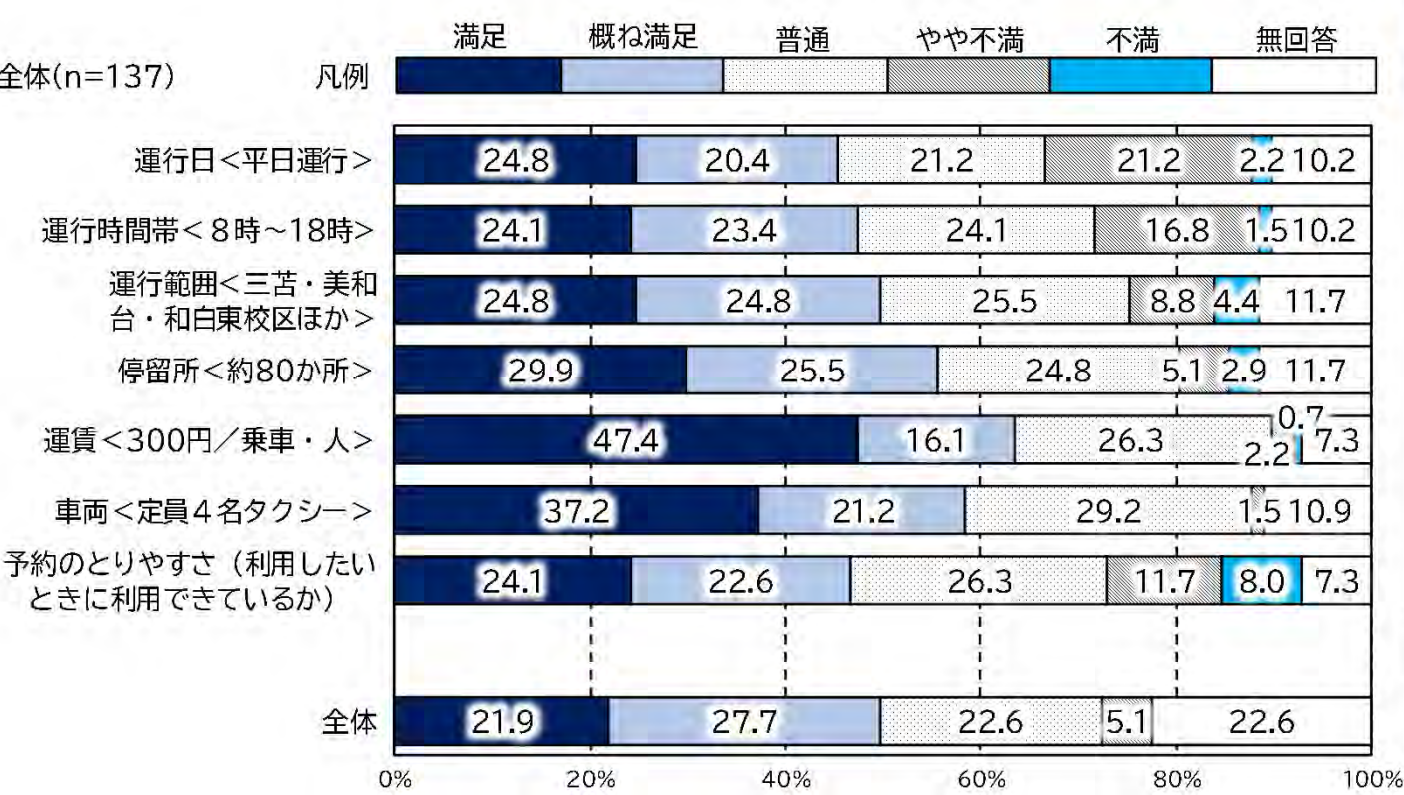
5.アンケート調査結果

(2)主な調査結果

○チョイソコに関する意見 ②会員アンケート

・「チョイソコふくおか」を利用したことがあると回答された方に、「チョイソコふくおか」の評価について尋ねた。
 ・「満足」と「概ね満足」を合わせた『満足（計）』の割合は「運賃<300円/乗車・人>」で63.5%と最も高く、次いで「車両<定員4名タクシー>」（58.4%）、「停留所<約80箇所>」（55.5%）などとなっており、「全体」は約5割となっている。
 ・一方、「やや不満」と「不満」を合わせた『不満（計）』の割合は「運行日<平日運行>」で23.4%と最も高くなっている。

<満足度>



満足(計)	普通(計)	不満(計)
45.3	21.2	23.4
47.4	24.1	18.2
49.6	25.5	13.1
55.5	24.8	8.0
63.5	26.3	2.9
58.4	29.2	1.5
46.7	26.3	19.7
49.6	22.6	5.1

- 【主な不満の理由】
- ・土日でも利用したいので運行してほしい。
 - ・19時頃まで延長してほしい。
 - ・和白、奈多、新宮町までエリア拡大してほしい。
 - ・病院、スーパー等に停留所を増やしてほしい。停留所が少ない。
 - ・料金の見直しを希望。
 - ・台数を2台に増車してほしい。
 - ・利用したい時間に予約がいっぱいで使えないことがある。等

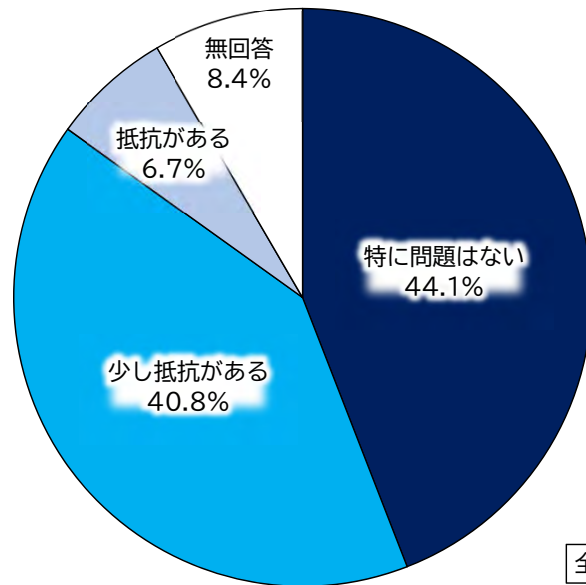
(2)主な調査結果

○その他

①住民アンケート

<他の乗客との乗合(相乗り)への抵抗感>

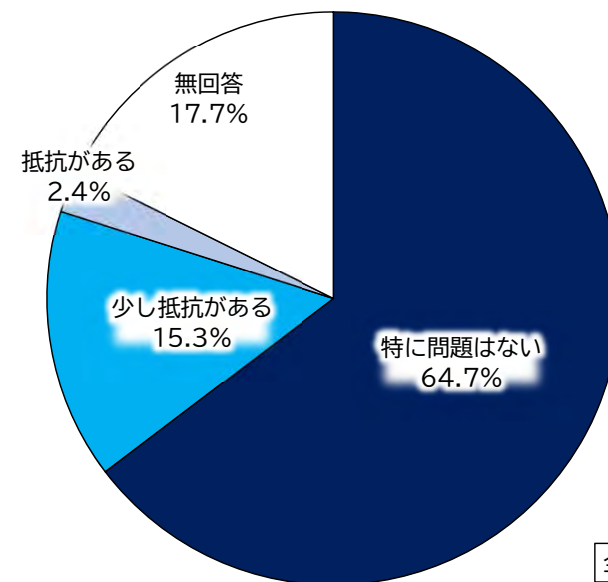
「特に問題はない」の割合が約4割で最も多いものの、「少し抵抗がある」(40.8%)と「抵抗がある」(6.7%)となっており、抵抗感を持っている方が約5割を占めている。



②会員アンケート

<他の乗客との乗合(相乗り)への抵抗感>

「特に問題はない」の割合が約6割で最も多く、「少し抵抗がある」(15.3%)と「抵抗がある」(2.4%)となっており、抵抗感を持っている方が約2割を占めている。



(1)地域の主なご意見（7月下旬：各校区ヒアリング）

- チョイソコは、**高齢者を中心に、地域住民の外出の役に立っている**。停留所が徐々に増えてきて、便利になってきた。
- 地域でも周知のため、様々に取り組んできたが、**ようやく地域内での認知が広まってきた**と感じる。
- まだ利用したことがない人が多いので、まず一度利用してもらえよう周知に取り組みたい。
民生委員など、**高齢者にとって身近な方への働きかけや、若い世代への周知に力を入れていきたい**。
- 複数校区で連携して取り組めており**、1つのエリアになったことで**住民の生活圏がカバー**でき、利便性が上がったと思う。
- 一方で、午前9時～10時、午後13時～14時など、予約が混み合っていて、**希望の時間に乗車できない時間帯がある**ので、改善されたい。代わりにタクシーを呼んでも来ないことが多く困っている。
- 乗車の30分前までしか予約ができないので、**少しでも予約受付時間を拡大**してもらいたい。
- 運行日や運行時間帯を拡大**してもらいたい。
- 高齢者が進展する中、生活交通がさらに課題となっている。たとえ採算が合わなくても、高齢者福祉という面からも、ぜひ**運行継続**を検討してもらいたい。

(2)交通事業者の主なご意見（7月下旬：チョイソコグループヒアリング）

- 高齢者を中心に、移動の利便性向上**を喜んでいただいていると感じており、利用者からは「家族送迎を頼んでおり遠慮しがちだったが、**チョイソコで一人で外出できるようになった**」等といった声を聞いている。
- 一方で、**停留所の追加や、運行日の拡大、運行時間帯の拡大、利用が集中する時間帯に予約がとりづらい**といったご意見も伺っている。一部時間帯は利用が集中するが、午後の運行は乗客がまだ少なく、**今のエリア範囲が妥当ではないか**。システム設定の見直し等も検討したい。
- 地域の方々との共働**ができてることが大変良いと感じている（全国的にも珍しいのではないか）。
- スポンサープランを追加**しても良いと考えている（3万円～など）
- まずは約1,000名の会員数を確保できているので、**利用促進**（体験乗車、予約体験、外出促進イベント）を**継続的に実施**していくことが重要（他都市と比較すると早いスピードで会員数が確保できている）。

検証項目	①運行サービス
結果	○会員(R5.7:959人)及び利用者(R5.7:28人/日)は増加傾向にはあるが、利用目標達成(40人/日)には至っていない。 ○サービスについて約半数が満足と回答。一方、運行日や時間、停留所や予約のとりにくさ等の改善要望あり。
検証項目	②運営面
結果	○利用者及びスポンサー数(R5.7:15停留所)が徐々に増え、収支率は増加傾向だが、R5.7月で収支率20%、欠損(負担)額は約76万円/月(1人当たりの負担金は約1,400円/回)。 ○認知度(内容まで知っている)は約3割。
検証項目	③地域住民のQOL
結果	○外出機会が増えた方が約3割。
検証項目	④地域課題の適合性
結果	○利用経験者の8割が高齢者であり、通院や買い物、駅等への移動のための交通手段の一つとなっている。

- ・利用者数や収支は厳しい状況であるものの、利用者は増加傾向で、地域住民の外出機会の増加等にもつながっている。
- ・これまで地域や事業者と共働で、認知度や利便性の向上、利用促進、運賃外収入の確保などに取り組んできており、今後、より一層取組みを進めることで、本社会実験を、公共交通が不便な地域等における持続可能な生活交通確保の仕組みづくりに資するものとしていく。

⇒ 地域や議会からも運行継続の要望もある中、エリア①東区の社会実験を継続する方向で関係者と調整を図りたい。

※今後のスケジュール
 10月上旬：運行協議会（地域・事業者・市）
 10月中旬：地域公共交通会議（公共交通事業者・福岡運輸支局等）

【現行の取組み】

項目	内容
認知度の向上（周知）	<ul style="list-style-type: none">・住民説明会の開催・チラシの全戸配布・市政だより、ホームページ等での広報・自治協だより・公民館だより等、地域広報物への掲載・地域の会合等での呼びかけ 等
運賃外収入の確保	<ul style="list-style-type: none">・新規スポンサーの確保
利便性の向上 （運行内容改善）	<ul style="list-style-type: none">・停留所の充実（目的地、住宅地）
利用促進	<ul style="list-style-type: none">・イベント（車両お披露目・試走式、スポンサーと連携したイベント）・会員登録者へのチョイソコ通信発行・乗車無料券発行（運行開始当初）